

事業評価書

補 助 事 業 名	千歳飛行場関連公共用施設（医療施設：自動体外式除細動器購入・更新）整備事業						
補 助 事 業 者 名	千歳市長						
実 施 場 所	北陽小スケートリンク（千歳市北陽3-9-1）外18施設						
補 助 事 業 の 成 果 の 目 標	千歳市では、公共施設を利用する市民が心室細動を発症した際に、救急隊が到着するまでの間、応急的な救命措置を迅速かつ適切に行える体制づくりを図るため、自動体外式除細動器を整備している。 この度、既存の自動体外式除細動器が耐用期間を経過し、迅速かつ適切な救命措置に支障をきたす恐れがあることから、自動体外式除細動器の更新を行い、また、自動体外式除細動器を設置していない公共施設に新たに整備することにより、市民が安心・安全に暮らせるまちづくりに寄与する。						
補 助 事 業 の 内 容	医療機器 19台						
補 助 事 業 の 始 期 及 び 終 期	令和7年5月～令和7年6月						
事 業 費 及 び 交 付 金 額		令和6年度	令和7年度	令和8年度 予定	令和9年度 予定	令和10年度 予定	計
	事業費	円	円 5,231,732	円	円	円	円 5,231,732
	交付金額		4,708,000				4,708,000
補助事業の成果及び評価並びに 地域住民への周知の実施状況	本事業実施により、利用者が心室細動を発症した際に、救急隊が到着するまでの間、応急的な救急処置を行えるようになり、引き続き利用者が安心して施設を利用できるようになった。 また、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用した事業であることを備品本体に表示するとともに、市ホームページ掲載及び施設掲示ポスター貼付により、利用者への周知を行った。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも、利用者のニーズを踏まえながら事業を実施。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	千歳飛行場関連公共用施設（医療施設：休日夜間急病センター医療機器更新）整備事業						
補 助 事 業 者 名	千歳市長						
実 施 場 所	千歳市休日夜間急病センター（千歳市東雲町1丁目8番地の1）						
補 助 事 業 の 成 果 の 目 標	千歳市では、休日及び夜間に市民が安心して内科系初期救急医療を受診できる環境を整備するため、平成29年9月5日に「千歳市休日夜間急病センター（ささえーる）」を開設している。 開設時に設置した既存医療機器は耐用期間が経過してきており、迅速かつ適切な救急医療体制の維持に支障を来す恐れがあることから、計画的に機器の更新を行うことで、市民の安心・安全を支える初期救急医療体制を確保する。						
補 助 事 業 の 内 容	デジタル画像診断システム端末 一式 ベッドサイドモニタ 一式 心電計 一式						
補 助 事 業 の 始 期 及 び 終 期	令和7年8月～令和7年10月						
事 業 費 及 び 交 付 金 額		令和6年度	令和7年度	令和8年度 予定	令和9年度 予定	令和10年度 予定	計
	事業費	円	円 4,598,000	円	円	円	円 4,598,000
	交付金額		4,500,000				4,500,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	【補助事業の成果及び評価】 本事業により休日夜間急病センターは1日も休診することなく、365日診療可能な体制が維持できている。また、医療機器も安定的に稼働しており、市民の安心・安全を支える初期救急医療体制の確保に寄与することができたと評価する。 【地域住民への周知の実施状況】 本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることを機器本体に表示し、施設内へ掲示するとともに、市ホームページにて掲載・公表した。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後、市民が安心して受診できる救急医療体制の構築を図るための事業を計画的に実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	千歳飛行場関連特定事業（福祉に関する事業：せいりゅう児童館修繕）						
補 助 事 業 者 名	千歳市長						
実 施 場 所	せいりゅう児童館（千歳市清流2丁目4番2）						
補 助 事 業 の 成 果 の 目 標	せいりゅう児童館は、学童クラブが併設され、地域子育て支援拠点機能も有しており、乳幼児親子から小・中・高校生までが利用する施設であるが、平成14年に開設し、開設から20年以上経過しており、施設の老朽化が進んでいる。 このため、屋根及び外壁の塗装並びに内装修繕を行うことで、利用住民の快適な居場所づくりと、施設の安全性の向上に資する。						
補 助 事 業 の 内 容	児童館修繕 一式						
補 助 事 業 の 始 期 及 び 終 期	令和7年6月～令和7年11月						
事 業 費 及 び 交 付 金 額		令和6年度	令和7年度	令和8年度 予定	令和9年度 予定	令和10年度 予定	計
	事業費	円	円 9,314,973	円	円	円	円 9,314,973
	交付金額		9,158,000				9,158,000
補助事業の成果及び評価並びに 地域住民への周知の実施状況	本事業実施により、施設を安心・安全、快適に使用する環境が整えられた。利用者の評判も良く、雨漏りにより滑って転ぶなどの心配がなくなり、乳幼児親子や児童がより安全に利用できる施設になった。 また、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用した事業であることを市ホームページ掲載及び施設掲示ポスター貼付により、利用者への周知を行った。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも、利用者のニーズを踏まえながら事業を実施。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	千歳飛行場関連公共用施設（社会福祉施設：在宅福祉総合センター衛生設備更新）整備事業						
補 助 事 業 者 名	千歳市長						
実 施 場 所	在宅福祉総合センター新富ほっとす（千歳市新富１丁目３番５号）						
補 助 事 業 の 成 果 の 目 標	在宅福祉総合センターのろ過タンクは、施設建設時の平成９年に設置されてから28年が経過し、経年劣化による故障が懸念されており、安定的な事業運営に支障を来しているところである。 当該機器を更新することにより、在宅福祉総合センターにおいて介護等が必要な高齢者に対し、安定的に快適な介護福祉サービスを提供する。						
補 助 事 業 の 内 容	浴槽ろ過装置更新 一式						
補 助 事 業 の 始 期 及 び 終 期	令和７年７月～令和７年12月						
事 業 費 及 び 交 付 金 額		令和６年度	令和７年度	令和８年度 予定	令和９年度 予定	令和10年度 予定	計
	事業費	円	円 19,800,000	円	円	円	円 19,800,000
	交付金額		18,067,000				18,067,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	本事業の実施により、デイサービス（介護保険事業）施設管理者に聞き取り調査を行ったところ、「入浴設備の安定的な運営が見込まれ、洗体を目的とした多くの利用者に安定したサービスを提供することができる。」などの評価が得られた。 また、デイサービス利用者などへの周知については、市のホームページに本事業の概要を掲載するとともに、施設内にポスターを掲示することで周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも、デイサービス利用者である高齢者の要望等を踏まえ、計画的に事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	千歳飛行場関連特定事業（環境衛生に関する事業：葬斎場火葬炉等修繕）						
補 助 事 業 者 名	千歳市長						
実 施 場 所	千歳市葬斎場（千歳市根志越1365番地の甲）						
補 助 事 業 の 成 果 の 目 標	本施設の火葬炉については、日々の火葬によって破損等が生じている状態であり、また、火葬炉付属設備についても経年劣化による不具合等が生じ、火葬業務に支障をきたしている状態である。 このため、火葬炉及び付属設備の修繕を実施し、設備の機能を維持することで、市民の安定的な利用に資する環境を整備する。						
補 助 事 業 の 内 容	火葬炉等修繕 一式						
補 助 事 業 の 始 期 及 び 終 期	令和7年7月～令和7年12月						
事 業 費 及 び 交 付 金 額		令和6年度	令和7年度	令和8年度 予定	令和9年度 予定	令和10年度 予定	計
	事 業 費	円	円 10,461,000	円	円	円	円 10,461,000
	交付金額		9,415,000				9,415,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	【補助事業の成果及び評価】 本工事の実施により、日々の火葬や経年劣化による支障等が改善され、葬斎場職員からは、円滑な火葬業務を行うことができているとの意見があり、市民の安定的な利用に資する環境の整備が図られたことを確認した。 【地域住民への周知の実施状況】 本葬斎場の修繕が特定防衛施設周辺整備調整交付金により実施されている旨を、市のホームページ及び葬斎場の事務室前に掲示し、利用者への周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も施設及び機材の定期的な点検整備、改修等を行い、適正な維持管理・運営に努める。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	千歳飛行場関連公共用施設（社会福祉施設：在宅福祉総合センター受変電設備更新）整備事業						
補 助 事 業 者 名	千歳市長						
実 施 場 所	在宅福祉総合センター新富ほっとす（千歳市新富１丁目３番５号）						
補 助 事 業 の 成 果 の 目 標	在宅福祉総合センターの受変電設備は、施設建設時の平成９年に設置されてから28年が経過し、経年劣化による故障が懸念されており、安定的な事業運営に支障を来しているところである。 当該機器を更新することにより、在宅福祉総合センターにおいて介護等が必要な高齢者に対し、安定的に快適な介護福祉サービスを提供する。						
補 助 事 業 の 内 容	受変電設備 一式						
補 助 事 業 の 始 期 及 び 終 期	令和７年７月～令和７年11月						
事 業 費 及 び 交 付 金 額		令和６年度	令和７年度	令和８年度 予定	令和９年度 予定	令和10年度 予定	計
	事業費	円 13,530,000	円 13,530,000	円	円	円	円 13,530,000
	交付金額		12,353,000				12,353,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	本事業の実施により、デイサービス（介護保険事業）施設管理者に聞き取り調査を行ったところ、「施設が運営する居宅サービスなどの事業は多くの機器を使用し安定した電気の供給が必須であるため、当該設備の更新は、事業運営の根幹となる電気を安定的に供給し、適切な事業運営に大きく寄与していると感じている。」などの評価が得られた。 また、デイサービス利用者などへの周知については、市のホームページに本事業の概要を掲載するとともに、施設内にポスターを掲示することで周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも、デイサービス利用者である高齢者の要望等を踏まえ、計画的に事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	千歳飛行場関連公共用施設（教育文化施設：信濃小学校外壁等改修）整備事業						
補 助 事 業 者 名	千歳市長						
実 施 場 所	千歳市立信濃小学校（千歳市信濃 2 丁目34番12号）						
補 助 事 業 の 成 果 の 目 標	千歳市立信濃小学校は、学校施設の老朽化が進み、外壁の亀裂や塗装の剥離、屋上防水シートの劣化などがあり、外壁の亀裂等による雨漏りの発生や児童生徒の怪我の危険性があることなど、児童生徒の学習環境に悪い影響を与えている。 このため、外壁等の改修工事を行い、児童が安心して学べる環境の整備を進めることにより、教育効果の向上を図る。						
補 助 事 業 の 内 容	外部改修工事 一式						
補 助 事 業 の 始 期 及 び 終 期	令和 7 年 6 月～令和 7 年11月						
事 業 費 及 び 交 付 金 額		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度 予定	令和 9 年度 予定	令和10年度 予定	計
	事 業 費	円	円 93, 863, 000	円	円	円	円 93, 863, 000
	交付金額		86, 810, 000				86, 810, 000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	信濃小学校教頭からの聞き取りで、外壁改修と屋上防水改修により亀裂等が補修され、雨漏りの心配もなくなったことや、屋外階段が改修されたことで授業や学校活動の際に学校施設を安心して利用できるようになったとの意見があり、学校において児童が安心して学べる学習環境の整備を進めることができ、教育効果の向上を図ることができた。 地域住民への周知については、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用した事業であることを、学校内の掲示物や学校だより、市ホームページへの掲載により、保護者・来校者等に周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも、小中学校改修計画に基づき、必要に応じて改修工事を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	千歳飛行場関連公共用施設（教育文化施設：高台小学校屋上防水改修）整備事業						
補 助 事 業 者 名	千歳市長						
実 施 場 所	千歳市立高台小学校（千歳市富丘1丁目1082番1）						
補 助 事 業 の 成 果 の 目 標	千歳市高台小学校は、昭和45年の建設後、施設の老朽化が進み、校舎屋上の防水シートの亀裂など防水機能の低下が見られ、雨漏りの発生があることなど、児童生徒の学習環境に悪い影響を与えている。 このため、屋上防水改修工事を行い、児童生徒が安心して学べる環境の整備を進めることにより、教育効果の向上を図る。						
補 助 事 業 の 内 容	屋上防水改修工事 一式						
補 助 事 業 の 始 期 及 び 終 期	令和7年6月～令和7年10月						
事 業 費 及 び 交 付 金 額		令和6年度	令和7年度	令和8年度 予定	令和9年度 予定	令和10年度 予定	計
	事 業 費	円	円 29,174,200	円	円	円	円 29,174,200
	交付金額		27,110,000				27,110,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	高台小学校教頭からの聞き取りで、屋上防水改修による漏水対策により、防水機能が回復し雨漏りの心配がなくなったため、授業や課外活動の際に学校施設を安心して利用できるようになったとの意見があり、学校において児童が安心して学べる学習環境の整備を進めることができ、教育効果の向上を図ることができた。現場の状況については、1月に状況確認し、雨漏り等の不具合がないことを確認した。 地域住民への周知については、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用した事業であることを、学校内の掲示物や学校だより及び千歳市公式サイトへの掲載により、保護者・来校者等に周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも、小中学校改修計画に基づき、必要に応じて改修工事を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	千歳飛行場関連公共用施設（産業の振興に寄与する施設：市営牧場用機械更新）整備事業						
補 助 事 業 者 名	千歳市長						
実 施 場 所	千歳市営牧場（千歳市駒里1032番地の1）						
補 助 事 業 の 成 果 の 目 標	千歳市営牧場は、市内酪農家の負担軽減を図るため、未經産牛の預託を受け、育成を行うことを目的として昭和38年に開設し、平成6年に現在の駒里に移転した。 ロールベアラーは、牧草や藁を円筒形に圧縮・梱包する農業機械であるが、現在使用しているものは、平成15年に使用開始したものであり、本体部品の金属疲労による破損や損耗が著しい状態である。 本機械が故障した場合、牧草の収穫・保存に多大な支障をきたすことから、当該機械を更新することにより、市営牧場の安定的な運用に資する環境を整備する。						
補 助 事 業 の 内 容	ロールベアラー 1 台						
補 助 事 業 の 始 期 及 び 終 期	令和7年7月～令和7年8月						
事 業 費 及 び 交 付 金 額		令和6年度	令和7年度	令和8年度 予定	令和9年度 予定	令和10年度 予定	計
	事業費	円	円 6,930,000	円	円	円	円 6,930,000
	交付金額		6,500,000				6,500,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	ロールベアラーの更新整備により、千歳市営牧場の運営に欠かせない収穫牧草の長期保管が効率化され、安定した飼料の生産体制が強化された。 なお、ロールベアラー本体への表記、牧場内掲示板へのポスター掲示、市ホームページへの掲載を行い、本事業が特定防衛施設周辺整備交付金事業である旨を周知した。 また、千歳市農政懇談会及び千歳市営牧場利用者協議会においても周知を行った。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も、ロールベアラーの適切な管理により、機械の長寿命化並びに安定した生産・給餌・衛生管理体制を維持する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	千歳飛行場関連公共用施設（スポーツ又はレクリエーションに関する施設：青葉公園庭球場改修）整備事業						
補 助 事 業 者 名	千歳市長						
実 施 場 所	青葉公園庭球場（千歳市真町2196番地の1）						
補 助 事 業 の 成 果 の 目 標	本事業を実施する青葉公園庭球場のうち軟式コートは、昭和61年の整備後、平成10年に人工芝を改修しておりますが、改修から27年が経過し、施設の一部に不具合が生じており、利用者に重大な影響を与えるおそれがある。 このため、施設の更新を実施し、安全安心に利用できる環境を整え、また、今後も安定的に利用できるよう措置することで、生活環境の改善を図る。						
補 助 事 業 の 内 容	青葉公園庭球場改修工事 一式						
補 助 事 業 の 始 期 及 び 終 期	令和7年9月～令和8年1月						
事 業 費 及 び 交 付 金 額		令和6年度	令和7年度	令和8年度 予定	令和9年度 予定	令和10年度 予定	計
	事業費	円	円 30,228,000	円	円	円	円 30,228,000
	交付金額		30,000,000				30,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	人工芝の摩擦やベースライン付近の剥がれ等が改善されたことから、本事業実施により、地域住民が安全かつ快適に利用できる環境を整えることができました。 また、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金により実施したことについて、市ホームページ掲載、施設掲示ポスター貼付により、地域住民へ周知を行った。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも、利用者のニーズを踏まえながら必要に応じて改修事業を実施。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	千歳飛行場関連特定事業（交通に関する事業：車両センター照明設備修繕）						
補助事業者名	千歳市長						
実施場所	車両センター（千歳市上長都1057-7）						
補助事業の成果の目標	車両センターは市が所有する除雪機械等の整備・管理を行ってきたが、建設から42年が経過し、照明設備の老朽化により車両の整備・管理に支障をきたしていることから、照明設備を更新する。						
補助事業の内容	照明設備修繕 一式						
補助事業の始期及び終期	令和7年9月～令和7年12月						
事業費及び交付金額		令和6年度	令和7年度	令和8年度 予定	令和9年度 予定	令和10年度 予定	計
	事業費	円	円 5,972,000	円	円	円	円 5,972,000
	交付金額		4,950,000				4,950,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	本事業の実施により、「不点箇所解消もあり、見やすくなり、作業が安全に行えるようになった」などの評価を得られたことから作業の円滑化と安全性を確保でき、生活環境の改善を図れたと評価できる。 本事業が調整交付金による事業であることを、市HP（工事のお知らせ）及び工事看板へ記載したことにより、事業について市民へ周知することができた。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も地域住民の理解を得ながら事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	千歳飛行場関連公共用施設（環境衛生施設：環境保全測定機器更新）整備事業						
補 助 事 業 者 名	千歳市長						
実 施 場 所	千歳市富丘4丁目13（測定局富丘局）						
補 助 事 業 の 成 果 の 目 標	千歳市では公害の未然防止及び生活環境の保全を図るため、大気汚染常時監視・データ収集を行っているところ、当市測定局（富丘局）の環境保全測定機器は、耐用年数の目安を大幅に越えて使用しており、メーカーによる修理も困難なことから、今後故障等が生じた際にデータ欠測の恐れがある。 本事業において当該機器を更新することにより、引き続き市内の環境の現状を適切に把握し、公害の未然防止及び市民の健康で安全かつ快適な生活環境の確保を図るものである。						
補 助 事 業 の 内 容	微小粒子状物質測定装置 一式						
補 助 事 業 の 始 期 及 び 終 期	令和7年5月～令和8年1月						
事 業 費 及 び 交 付 金 額		令和6年度	令和7年度	令和8年度 予定	令和9年度 予定	令和10年度 予定	計
	事業費	円	円 5,500,000	円	円	円	円 5,500,000
	交付金額		4,950,000				4,950,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	本事業実施により、担当職員からは、データ欠測の不安が払拭でき、市内の環境の現状を適切に把握することが可能となったとの報告を得た。これにより、公害の未然防止及び市民の健康で安全かつ快適な生活環境の確保が図られたと評価できる。 本事業を特定防衛施設周辺整備調整交付金により実施したことについて、市ホームページ掲載、施設等への表示にて周知を行った。						
事業の改善措置及び今後の対応	更新した環境保全測定機器を適切に維持管理する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	千歳飛行場関連特定事業（教育、スポーツ及び文化に関する事業：公園照明灯LED化修繕）						
補 助 事 業 者 名	千歳市長						
実 施 場 所	市内公園						
補 助 事 業 の 成 果 の 目 標	本事業においてLED化を行う公園照明灯は、水銀灯等を使用しており、照明器具の不具合により不点となっている照明灯もあるため、公園利用者が安全かつ快適に利用するために改善が必要である。 このため、公園及び緑地の照明灯LED化修繕を実施し、地域住民が安全かつ快適に利用できる環境を整え、また、今後も安定的に利用できるよう措置することで、生活環境の改善を図る。						
補 助 事 業 の 内 容	照明灯LED化 一式						
補 助 事 業 の 始 期 及 び 終 期	令和7年9月～令和8年1月						
事 業 費 及 び 交 付 金 額		令和6年度	令和7年度	令和8年度 予定	令和9年度 予定	令和10年度 予定	計
	事業費	円 20,335,389	円 20,335,389	円	円	円	円 20,335,389
	交付金額		20,000,000				20,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	公園利用者からの聞き取りにより、「照明灯が新しくなったことにより、夜間における歩行者の安全がより確保された。」や「故障により不点だった照明灯もあったので、防犯面が向上した。」などの評価を得たことから、地域住民が安全かつ快適に利用できる環境へ改善された。 本事業を特定防衛施設周辺環境整備調整交付金事業により実施したことについて、市のホームページ、作業の際に公園内に掲示する修繕のお知らせにて周知を行った。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も公園利用者等の理解を得ながら事業を実施。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	千歳飛行場関連公共用施設（スポーツ又はレクリエーションに関する施設：北光公園）整備事業						
補 助 事 業 者 名	千歳市長						
実 施 場 所	北光公園(千歳市北光2丁目689-8、9、10、12)						
補 助 事 業 の 成 果 の 目 標	本事業において工事する北光公園は、インクルーシブ公園として位置づけて整備しており、遊具等も少なく地域住民の健康増進において十分な機能ではないことから、公園としての機能の向上、住民の生活環境の向上を図る必要がある。 このため、遊具新設等の工事を実施し、地区住民が快適に利用できる環境を整え、今後も安定的に利用できるように生活環境の改善を図る。 （主な工事内容）遊具の新設等						
補 助 事 業 の 内 容	公園整備 一式						
補 助 事 業 の 始 期 及 び 終 期	令和7年9月～令和8年2月						
事 業 費 及 び 交 付 金 額		令和6年度	令和7年度	令和8年度 予定	令和9年度 予定	令和10年度 予定	計
	事業費	円	円 55,308,000	円	円	円	円 55,308,000
	交付金額		53,000,000				53,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	公園利用者からの聞き取りにより、「柔らかな舗装をしてくれたので多少アクティブな遊び方をしても安心して見てられるし、転んだとしても服も汚れないので良かった」や「市内のどの公園にもないような遊具やブランコが設置されたので子どもも大変喜んでいる。病院の待ち時間などでも利用できるので良かった」、「舗装のおかげで車イスでも利用できるようにするため、障がい等を持っていても楽しめる公園になって良かった」などの評価を得たことから、地域住民が安全かつ快適に利用できる環境へ改善された。 本事業を特定防衛施設周辺環境整備調整交付金事業により実施したことについて、市のホームページ、工事のお知らせ及び施設への表示にて周知を行った。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も公園利用者等の理解を得ながら事業を実施。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	千歳飛行場関連特定事業（教育、スポーツ及び文化に関する事業：千歳市民文化センター吊物ワイヤー等交換修繕）						
補 助 事 業 者 名	千歳市長						
実 施 場 所	千歳市民文化センター（千歳市北栄２丁目２番11号）						
補 助 事 業 の 成 果 の 目 標	千歳市民文化センターは、昭和59年に開館し、建設から41年以上が経過している。耐用年数が経過した舞台の吊物ワイヤー等について、整備計画と定期点検の結果に基づいて早期に交換修繕を行うことにより、市民が安全に安心して利用できる環境の整備を図る。						
補 助 事 業 の 内 容	吊物ワイヤー等交換修繕 一式						
補 助 事 業 の 始 期 及 び 終 期	令和７年９月～令和８年３月						
事 業 費 及 び 交 付 金 額		令和６年度	令和７年度	令和８年度 予定	令和９年度 予定	令和10年度 予定	計
	事業費	円 5,629,000	円 5,629,000	円	円	円	円 5,629,000
	交付金額		4,775,000				4,775,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	本事業実施により、舞台設備に関して予防保全に基づく交換修繕を行うことができ、舞台設備の安全性が確保された。 また、施設管理者からは、耐用年数を経過した吊物ワイヤー等を交換することで、利用者が安全かつ安心して利用できる環境が整備されたとの報告を得た。 本事業を特定防衛施設周辺整備調整交付金により実施したことについて、施設のホームページ掲載、施設掲示ポスター貼付、文化センターだよりに掲載し、市民への周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	過去に実施している類似事業では、利用者の安心安全な施設環境の整備を図っており、本事業においても予防保全に基づく同様の環境整備を行うことができたことから、今後も適正な施設の管理運営及び環境整備に努める。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	千歳飛行場関連公共用施設（スポーツ又はレクリエーションに関する施設：青葉公園）整備事業						
補 助 事 業 者 名	千歳市長						
実 施 場 所	青葉公園(千歳市真町2196番、泉沢868番)						
補 助 事 業 の 成 果 の 目 標	本事業において改修する青葉公園は、整備後約30年経過し、各施設の老朽化が著しく、安全性に対する支障があることから、公園としての利便性の向上、住民の生活環境の向上を図り、安全かつ快適に使用するため改善を要する状況にある。 このため、青葉公園内の各施設の更新を実施し、地域住民が安全かつ快適に利用できる環境を整え、また、今後も安定的に利用できるよう措置することで、生活環境の改善を図る。 （主な工事内容）照明灯・施設等の更新						
補 助 事 業 の 内 容	公園整備 一式						
補 助 事 業 の 始 期 及 び 終 期	令和7年10月～令和8年2月						
事 業 費 及 び 交 付 金 額		令和6年度	令和7年度	令和8年度 予定	令和9年度 予定	令和10年度 予定	計
	事業費	円 20,042,000	円 20,042,000	円	円	円	円 20,042,000
	交付金額		20,000,000				20,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	公園利用者からの聞き取りにより、「水路の中が汚く子どもを遊ばせたいとは思わなかったが、きれいになったことで夏になれば利用してみたい」や「以前は街灯があっても薄暗い印象であり少し怖かったが、今は安全に安心して利用できるようになって良かった」、「ランニングや散歩で訪れることが多く、色々きれいになったことで気持ちよく散歩や走ることができるようになった。今後も続けてほしい」などの評価を得たことから、地域住民が安全かつ快適に利用できる環境へ改善された。 本事業を特定防衛施設周辺環境整備調整交付金事業により実施したことについて、市のホームページ、施設への表示にて周知を行った。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も公園利用者等の理解を得ながら事業を実施。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	千歳飛行場関連特定事業（教育、スポーツ及び文化に関する事業：千歳市民文化センター空調自動制御機器交換修繕）						
補 助 事 業 者 名	千歳市長						
実 施 場 所	千歳市民文化センター（千歳市北栄2丁目2番11号）						
補 助 事 業 の 成 果 の 目 標	千歳市民文化センターは、昭和59年に開館し建設から41年以上が経過している。空調の温度や湿度、風量を自動で調節する自動制御機器について、今回修繕を行うアイソレータ、レシオバイアストランスミッタは、ともに機器に必要なアナログ信号の調整を行いインバーターの制御を行っている。挿入形サーモスタットは、給気温度を計測しバルブモータで開度を調整することで給気温度の制御を行っている。ルームスタットは、室内の温度を検出しバルブモータで開度を調整することで給気温度の制御を行う機器である。これらの機器は耐用年数を経過しており、万一故障した場合は館内温度や湿度が適正に保てなくなる。 そのため、整備計画と定期点検の結果に基づいて早期に交換修繕を行うことにより、施設利用者が安全かつ快適に利用できる環境の整備を図る。						
補 助 事 業 の 内 容	自動制御機器一式						
補 助 事 業 の 始 期 及 び 終 期	令和7年10月～令和8年3月						
事 業 費 及 び 交 付 金 額		令和6年度	令和7年度	令和8年度 予定	令和9年度 予定	令和10年度 予定	計
	事業費	円	円 3,989,000	円	円	円	円 3,989,000
	交付金額		3,824,000				3,824,000
補助事業の成果及び評価並びに 地域住民への周知の実施状況	今回の事業を実施したことにより、施設の温度・湿度管理に関する機器について、経年劣化による故障・動作不良を予防し、施設利用者が快適に利用できる環境の整備を図ることができた。 また、施設管理者からは、館内の温湿度が適正に保持され、利用者が快適に利用できる環境が整備されたとの報告を得た。 本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金により実施されたことについて、施設のホームページ掲載、施設掲示ポスター貼付、文化センターだよりに掲載し、市民への周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	過去に実施している類似事業では、利用者の安心安全な施設環境の整備を図っており、本事業においても予防保全に基づく同様の環境整備を行うことができたことから、今後も適正な施設の管理運営及び環境整備に努める。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	千歳飛行場関連公共用施設（スポーツ又はレクリエーションに関する施設：勇舞すこやか公園）整備事業						
補 助 事 業 者 名	千歳市長						
実 施 場 所	勇舞すこやか公園(千歳市桜木3丁目982他)						
補 助 事 業 の 成 果 の 目 標	本事業において工事する勇舞すこやか公園は、開設後26年以上が経過し老朽化が著しく、遊具等の撤去や施設の故障が生じており、公園としての機能が低下しているため、公園としての利便性の向上、住民の生活環境の向上を図り、安全かつ快適に使用するため改善を要する状況にある。 このため、公園の改修工事を実施し、地区住民が安全かつ快適に利用できる環境を整え、また、今後も安定的に利用できるように措置することで、生活環境の改善を図る。 (主な工事内容) 施設等の更新						
補 助 事 業 の 内 容	公園整備 一式						
補 助 事 業 の 始 期 及 び 終 期	令和7年11月～令和8年3月						
事 業 費 及 び 交 付 金 額		令和6年度	令和7年度	令和8年度 予定	令和9年度 予定	令和10年度 予定	計
	事業費	円	円 74,976,000	円	円	円	円 74,976,000
	交付金額		63,200,000				63,200,000
補助事業の成果及び評価並びに 地域住民への周知の実施状況	公園利用者からの聞き取りにより、「元々あった滑り台は古く危ないと思っていたが、新しくなったことで子どもが喜んでいいるし親としても安心して遊ばせることができ遊びの幅も広がった」や「前までの階段や水路は、水漏れやタイルの割れなどがあり普通に上り下りするだけでも怖かったが、今回直して頂いたことで安全になったし遊びに来やすくなった」、「市内にあるバスケットコートはどれも古く、ドリブルがまともにできなかったが、直してもらったので試合形式でできるようになって良かった」などの評価を得たことから、地域住民が安全かつ快適に利用できる環境へ改善された。 本事業を特定防衛施設周辺環境整備調整交付金事業により実施したことについて、市のホームページ、施設への表示にて周知を行った。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も公園利用者等の理解を得ながら事業を実施。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	千歳飛行場関連公共利用施設（スポーツ又はレクリエーションに関する施設：千歳市温水プール備品更新）整備事業						
補 助 事 業 者 名	千歳市長						
実 施 場 所	千歳市温水プール（千歳市流通3丁目1-9）						
補 助 事 業 の 成 果 の 目 標	千歳市温水プールは平成10年に開設され、以来多くの市民に利用されており、令和6年度には、約117,000人が利用している施設である。 現在の入館券管理システムは、新紙幣や新500円硬貨に対応していないため、利用者は、旧紙幣への両替が必要になっているほか、トレーニングルームにあるトレッドミルは、現在、老朽化により故障し使用を停止しており、プールの運営に支障をきたしていることから、当該備品を購入し、市民の安全かつ快適なスポーツ活動に資する環境を整備する。						
補 助 事 業 の 内 容	トレッドミル 1台、入館券・売上管理システム 一式						
補 助 事 業 の 始 期 及 び 終 期	令和7年12月 ～ 令和8年3月						
事 業 費 及 び 交 付 金 額		令和6年度	令和7年度	令和8年度 予定	令和9年度 予定	令和10年度 予定	計
	事業費	円	円 20,296,100	円	円	円	円 20,296,100
	交付金額		17,000,000				17,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	指定管理者に聞き取りを行ったところ、券売機の更新に伴い、新札対応が可能になるなど利用者の利便性の改善が図られたほか、トレッドミルの更新に伴い、利用者の安全性の向上が図られたことから、地域住民が安全かつ快適に利用できる環境を整えることができた。 また、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金により実施したことについて、市ホームページ掲載、施設掲示ポスター貼付及び購入備品への掲示により、地域住民へ周知を行った。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも、利用者のニーズを踏まえながら適切な更新時期を図りながら事業を実施。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	千歳飛行場関連公共用施設（スポーツ又はレクリエーションに関する施設：総合武道館備品更新）整備事業						
補 助 事 業 者 名	千歳市長						
実 施 場 所	千歳市開基記念総合武道館（千歳市あずさ1丁目3番1号）						
補 助 事 業 の 成 果 の 目 標	総合武道館のトレーニング器具は、経年劣化が進んでおり、利用者から器具の更新要望があるほか、一部の部品供給が終了していることから、施設の管理・運営に支障をきたしている。 トレーニング器具を更新し、市民の安全かつ快適なスポーツ活動に資する環境を整備する。						
補 助 事 業 の 内 容	トレーニング器具一式						
補 助 事 業 の 始 期 及 び 終 期	令和8年1月 ～ 令和8年3月						
事 業 費 及 び 交 付 金 額		令和6年度	令和7年度	令和8年度 予定	令和9年度 予定	令和10年度 予定	計
	事 業 費	円	円 8,938,804	円	円	円	円 8,938,804
	交付金額		6,800,000				6,800,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	指定管理者に聞き取りを行ったところ、トレーニング器具を更新したことにより、若い一般利用者の利用の増加や安全性の向上が図られたことから、地域住民が安全かつ快適に利用できる環境を整えることができた。 また、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金により実施したことについて、市ホームページ掲載、施設掲示ポスター貼付により、地域住民へ周知を行った。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも、利用者のニーズを踏まえながら適切な更新時期を図りながら事業を実施。						
事業の評価に際しての第三者機関の有無	無						

事業評価書

補助事業名	千歳飛行場関連公共用施設（消防に関する施設：陽圧式化学防護服更新）整備事業						
補助事業者名	千歳市長						
実施場所	千歳市消防署（千歳市東雲町4丁目1番地の7）						
補助事業の成果の目標	陽圧式化学防護服（以下、「防護服」という。）は、地下鉄サリン事件など、未知の剤が散布された際に、消防隊員が最前線で人命救助、剤の発見、検知等の活動を行うためには必要不可欠な資機材である。 防護服を更新整備することで、消防活動の安全及び維持が図ることができ、市民生活の安全に寄与する。						
補助事業の内容	陽圧式化学防護服 5着						
補助事業の始期及び終期	令和8年1月～令和8年3月						
事業費及び交付金額		令和6年度	令和7年度	令和8年度 予定	令和9年度 予定	令和10年度 予定	計
	事業費	円	円 5,115,000	円	円	円	円 5,115,000
	交付金額		4,500,000				4,500,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	陽圧式化学防護服の更新整備により消防活動の安全及び維持が図られ、本資機材を使用した定期的な訓練を実施することで、有事における即応体制がさらに強固なものとなり、市民生活の安全に寄与する結果となっている。 本事業を特定防衛施設周辺環境整備調整交付金事業で実施したことについて、市ホームページに掲載及び備品本体に掲示することで周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も地域住民の生命、身体及び財産の保護に努め、計画的に事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	千歳飛行場関連公共用施設（教育文化施設：小中学校備品購入・更新）整備事業						
補 助 事 業 者 名	千歳市長						
実 施 場 所	千歳市立千歳第二小学校（千歳市清流 1 丁目 4 番 1 号）外 7 校						
補 助 事 業 の 成 果 の 目 標	学校は、児童生徒が日中の大半を過ごす学習・生活の場であり、通常の授業をはじめ、各種行事や学校生活等において使用する学校備品を整備することで、安全で快適な教育環境を整備する。また、児童生徒等の健康診断に使用する保健備品について、更新・整備を行うことで、正確な測定・検査結果が得られるとともに、作業効率を向上させる。 学校備品を整備することで、児童生徒の教育環境の質の向上及び充実を図るものである。						
補 助 事 業 の 内 容	保健備品外 一式						
補 助 事 業 の 始 期 及 び 終 期	令和 8 年 1 月～令和 8 年 3 月						
事 業 費 及 び 交 付 金 額		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度 予定	令和 9 年度 予定	令和10年度 予定	計
	事 業 費	円	円 4, 259, 640	円	円	円	円 4, 259, 640
	交付金額		3, 800, 000				3, 800, 000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	学校備品の整備により、教員からは安全性の向上や設置負担の軽減、教育設備の充実が評価された。これにより、安全で快適な教育環境を整備することができた。また、保健備品の更新によって身体検査の精度向上や作業効率の改善が実現したとの評価を得た。これらの整備の成果として、児童生徒の教育環境の質が向上し、充実した学びの場を提供できている。 また、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業で整備したことを備品本体へ表記するとともに、学校施設の掲示板へのポスター貼付及び各校のホームページへの掲載を実施した。						
事業の改善措置及び今後の対応	学習活動の充実を図るため、今後に必要な備品の整備事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	千歳飛行場関連公共用施設（スポーツ又はレクリエーションに関する施設：青葉公園受変電設備更新）整備事業						
補助事業者名	千歳市長						
実施場所	青葉公園（千歳市真町2196番・泉沢868番）						
補助事業の成果の目標	本事業を実施する青葉公園は、整備後約40年が経過し、受変電設備の一部に不具合が生じており、万が一設備の故障が発生した場合、利用者に重大な影響を与えるおそれがある。 このため、受変電設備の更新を実施し、安全安心に利用できる環境を整え、また、今後も安定的に利用できるよう措置することで、生活環境の改善を図る。						
補助事業の内容	全 体：受変電設備更新 実施設計 一式、工事 一式 本年度：受変電設備更新 工事 一式						
補助事業の始期及び終期	全 体：令和6年度～令和7年度 本年度：令和7年8月～令和8年3月						
事業費及び交付金額		令和6年度	令和7年度	令和8年度 予定	令和9年度 予定	令和10年度 予定	計
	事業費	円 6,688,000	円 58,499,100	円	円	円	円 65,187,100
	交付金額	6,100,000	58,400,000				64,500,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	公園管理者からの聞き取りにより、「経年劣化により、設備の一部に不具合が生じていたが、今回の更新工事により解消され、利用者の安全性や維持管理性が向上した。」などの評価を得たことから、安全かつ快適に利用できる環境へ改善された。 本事業を特定防衛施設周辺整備調整交付金事業により実施したことについて、市のホームページ、施工の際に公園内に掲示する工事のお知らせにて周知を行った。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も公園管理者及び公園利用者等の理解を得ながら事業を実施。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	千歳飛行場関連公共用施設（スポーツ又はレクリエーションに関する施設：青葉公園 その2）整備事業						
補 助 事 業 者 名	千歳市長						
実 施 場 所	青葉公園(千歳市真町2196番、泉沢868番)						
補 助 事 業 の 成 果 の 目 標	本事業において改修する青葉公園は、整備後約30年経過し、各施設の老朽化が著しく、安全性に対する支障があることから、公園としての利便性の向上、住民の生活環境の向上を図り、安全かつ快適に使用するため改善を要する状況にある。 このため、青葉公園内の各施設の更新を実施し、地域住民が安全かつ快適に利用できる環境を整え、また、今後も安定的に利用できるよう措置することで、生活環境の改善を図る。 （主な工事内容）照明灯の更新						
補 助 事 業 の 内 容	公園整備 一式						
補 助 事 業 の 始 期 及 び 終 期	令和7年12月～令和8年3月						
事 業 費 及 び 交 付 金 額		令和6年度	令和7年度	令和8年度 予定	令和9年度 予定	令和10年度 予定	計
	事業費	円 16,511,000	円 16,511,000	円	円	円	円 16,511,000
	交付金額		15,000,000				15,000,000
補助事業の成果及び評価並びに 地域住民への周知の実施状況	公園利用者からの聞き取りにより、「以前は照明灯の柱がボロボロでいつ倒れるか心配していたが、今は安全に安心して利用できるようになって良かった。今後も続けてほしい」などの評価を得たことから、地域住民が安全かつ快適に利用できる環境へ改善された。 本事業を特定防衛施設周辺整備調整交付金事業により実施したことについて、市のホームページ、施設への表示にて周知を行った。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も公園利用者等の理解を得ながら事業を実施。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	千歳飛行場関連公共用施設（医療施設：医療機器更新）整備事業						
補 助 事 業 者 名	千歳市長						
実 施 場 所	市立千歳市民病院（千歳市北光2丁目1番1号）						
補 助 事 業 の 成 果 の 目 標	全身麻酔装置は、当院の手術件数全てにおいて使用されており、全領域における手術を行うための重要な装置となっている。総合呼吸機能自動解析装置は、呼吸器の病気が疑われる際や病態状態を見る際、手術前の患者の呼吸状態を確認する際に使用されるなど、日々の使用頻度が高い装置となっている。 これらの医療機器は老朽化しており、更新することで千歳市における安定的な医療環境の提供の継続を図るとともに、操作性・効率性の高い機器や、患者の状態変化に迅速に対応可能である機器に更新することで、患者負担を軽減し、より安全な医療環境を提供する。						
補 助 事 業 の 内 容	全身麻酔装置 一式、 総合呼吸機能自動解析装置 一式						
補 助 事 業 の 始 期 及 び 終 期	令和8年1月26日～令和8年3月16日						
事 業 費 及 び 交 付 金 額		令和6年度	令和7年度	令和8年度 予定	令和9年度 予定	令和10年度 予定	計
	事業費	円 13,500,000	円 13,500,000	円	円	円	円 13,500,000
	交付金額		12,000,000				12,000,000
補助事業の成果及び評価並びに 地域住民への周知の実施状況	全身麻酔装置においては、麻酔中の肺保護換気による肺合併症の低減、総合呼吸機能自動解析装置においては、SpO2センサーによるリスク管理の向上により患者負担の軽減及び安全性が向上された。 また、医師や看護師に確認したところ、全身麻酔装置、総合呼吸機能自動解析装置ともに、院内での使用頻度が高い機器であるため、これらを更新したことにより、診療の安定性が向上し、安全な医療環境の提供が図られた旨回答があった。 なお、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を、本体に表記するとともに、当院ホームページ及び院内掲示板へ掲載することにより周知している。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も適切な管理を行いながら計画的に医療機器の更新を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	千歳飛行場関連特定事業（住民の生活の安全に関する事業：街路灯ＬＥＤ化整備事業）							
補 助 事 業 者 名	千歳市長							
実 施 場 所	千歳市内							
補 助 事 業 の 成 果 の 目 標	市が管理している街路灯は、耐用年数が経過した灯具の球切れ等により、消灯が頻発し、夜間における車両の通行や地域住民の生活環境に支障が発生している。 このことから、街路灯の灯具をＬＥＤ化することにより、夜間における消灯を解消し、事故の発生を防止するほか、地域の安全な生活環境を整備する。							
補 助 事 業 の 内 容	街路灯の灯具更新							
補 助 事 業 の 始 期 及 び 終 期	令和４年度～令和10年度							
事 業 費 及 び 交 付 金 額			令和６年度	令和７年度	令和８年度 予定	令和９年度 予定	令和10年度 予定	計
	事業費	円	円	円	円	円	円	円
	基金 造成 額	交付金	481,155,000	93,498,000	75,000,000	70,531,000	14,387,000	734,571,000
		市町村費等						0
		その他						0
		運用益	408,469	1,160,000	1,700,000	1,000,531	200,000	4,469,000
		計	481,563,469	94,658,000	76,700,000	71,531,531	14,587,000	739,040,000
	基金処分額		297,953,830	129,700,000	129,700,000	129,700,000	51,986,170	739,040,000
	基金残額		183,609,639	148,567,639	95,567,639	37,399,170	0	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	本基金により安定的かつ計画的にＬＥＤへの更新が可能となり、地域住民からは夜間通行における安全性が向上したなどの評価が得られるなど、地域住民の安全安心な生活に資する環境の整備が図られている。 なお、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業であることについて、市ＨＰへの掲載により地域住民に周知を図っている。							
事業の改善措置及び今後の対応	今後も、地域住民の要望を踏まえ、計画的に事業を実施する。							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							